

宮崎大学医学部附属病院ボランティア活動心得

職員一同、心から歓迎し、ボランティア活動をしてくださることに感謝いたします。
患者さんの通院及び入院生活を豊かなものにするために、あなたは大きな貢献をしてくださることになります。

宮崎大学医学部附属病院としても、ボランティアの皆様と手を携えて患者サービスの向上に努力していきたいと思えます。

活動内容についてわからないことなどがありましたら、どうぞ遠慮なく質問や提案をしてくださるようお願いいたします。

なお、活動に当たりましては、次のことをお守りくださるよう併せてお願いいたします。

活動にあたってのお願い

- 1 自分の引き受けた活動に責任を持ちましょう。
- 2 活動の約束をした日時は守り、やむを得ず休む時は、事前に担当職員に連絡しましょう。
- 3 活動を辞退する場合は、担当職員に連絡し、辞退届の提出をしてください。
- 4 活動には担当する部署の方針に従い、職員から受けたお願いや注意事項は守りましょう。
- 5 病院内では、思想的、宗教的、政治的活動は一切行わないようにしましょう。
- 6 個人情報保護の観点から、患者さんの名前や病状などのプライバシーに関することは、絶対に漏らしてはいけません。
- 7 活動内容をボランティア活動記録簿に記載してください。

活動上の心得

- 1 「あいさつ」は人間関係の潤滑油です。あいさつを励行しましょう。
- 2 患者さんに対しては、相手を思いやる温かい心を持って、明るく笑顔で話しかけるよう心がけましょう。
- 3 患者さんに対しては平等に接し、特別に親しい患者さんをつくらないようにしましょう。
- 4 患者さんから症状、診断についてたずねられた時は、担当医師に相談するよう勧めましょう。
- 5 患者さんの容態について必要以上のことをたずねたり、診断、治療などに意見を挟まないようにしましょう。
- 6 医師が処方した薬以外の薬や、品物などを患者さんに勧めたりしないようにしましょう。
- 7 患者さん（またはその家族）に贈り物をしたり、患者さんから贈り物を貰ったりしないようにしましょう。
- 8 大声でしゃべったり、笑ったりするのは控えましょう。
- 9 わからないことがありましたら、担当職員におたずねください。

服装

- 1 清潔で活動しやすい服装を心がけてください。
- 2 病院が貸与するボランティア用エプロンを着用してください。
- 3 本院の発行する名札及び委嘱状を必ず携帯してください。
- 4 靴は、なるべくかかとの低い音のしないものを履きましょう。
- 5 爪は短く、お化粧品や香水、アクセサリ、マニキュアは控え目にしましょう。

健康管理

- 1 活動の前後には、手洗い、うがいを励行し、自分自身の健康に充分気をつけてください。
- 2 活動中にケガをしたり、気分が悪くなったときは無理をせず、担当職員に申し出てください。
- 3 感染症を疑わせる症状がある場合には、活動をお控えください。

担当係：医療支援課医療支援係
連絡先：0985-85-9601